

ング機構の解明. 歯学研究を明るく楽しむ交流会・
歯科領域での AI 活用の検討会, 天城, 2024 年 11 月
30 日

- 5) 照沼美穂: 神経伝達物質を基軸とした神経科学研究.
東京大学大学院農学生命化学研究科「食嗜好性のメ
カニズム」セミナー, 東京, 2024 年 12 月 11 日.
- 6) Castillo-Quispe S: Study of the effects of sake on bone
metabolism and osteoporosis prevention. VII Meeting
of Peruvian Researchers in Japan - APEJA 2025, Tokyo,
March 28, 2025.

【受 賞】

- 1) 市木貴子: 令和 6 年度新年俸制教員特別報奨, 新潟
大学, 2025 年 3 月 17 日.

歯周診断・再建学分野

【著 書】

- 1) 小林哲夫: 高齢者の特徴と歯周病 3. 高齢者の口
腔内の特徴. 「高齢者の歯周治療ガイドライン 2023」
(特定非営利活動法人 日本歯周病学会 編), 19-
23 頁, 医歯薬出版, 東京, 2024.

【論 文】

- 1) Yan C, Nakajima M, Ikeda-Imafuku M, Yanagawa M,
Hayatsu M, Fukuta T, Shibata S, Mitragotri S, Tabeta K:
Choline and Geranate Ionic Liquid for Subgingival
Biofilm Control. *International Journal of Pharmaceutics*
662 (2024) 124544, 2024 Sep 5.
- 2) Nakajima M, Kapate N, Clegg JR, Ikeda-Imafuku M, Park
KS, Kumbhojkar N, Suja VC, Prakash S, Wang LLW,
Tabeta K, Mitragotri S: Backpack-carrying macrophage
immunotherapy for periodontitis. *Journal of Controlled
Release* 377 (2025) 315-323, 2025 Jan 10.
- 3) Yamada-Hara M, Takahashi N, Byun JW, Zeng L, Wang
Z, Tanaka A, Malakoutikhah Z, Hayashi T, Webster NJG,
Raz E, Bertin S: In Vivo Bioluminescence Imaging of
Tumor Progression in the Lewis Lung Carcinoma
Orthotopic Mouse Model – A Comparison Between the
Tail Vein Injection and Intranasal Instillation Methods.
Curr Protoc 4(12): e70071, 2024.
- 4) Minato Y, Aoki-Nonaka Y, Lwin HY, Ando D, Warita Y,
Matsugishi-Nasu A, Hiyoshi T, Takahashi N, Tabeta K:
Allyl isothiocyanate suppressed periodontal tissue
destruction in mice via bacteriostatic and anti-
inflammatory activities against *Porphyromonas gingivalis*.
Arch Oral Biol Oct 23;169:106118, 2024.

- 5) Takizawa F, Domon H, Hirayama S, Isono T, Sasagawa K,
Yonezawa D, Ushida A, Tsutsuura S, Miyoshi T, Mimuro
H, Yoshida A, Tabeta K, Terao Y: Effective degradation of
various bacterial toxins using ozone ultrafine bubble
water. *PLOS ONE* 19(7): e0306998, 2024.
- 6) Asakura T, Tran D, Ueda Y, Yamada A, Tsuzuno T,
Takahashi N, Miyata M, Tabeta K, Nagata M, Matsuda K:
Analysis of the effect of human type i collagen-derived
peptide on bone regenerative capacity and comparison
with various collagen materials in vivo.
Medicina(Kaunas) 61(1):57, 2025.
- 7) Motosugi S, Takahashi N, Mineo S, Sato K, Tsuzuno T,
Aoki-Nonaka Y, Nakajima N, Takahashi K, Sato H,
Miyazawa H, Taniguchi K, Terai S, Tabeta K: Enrichment
of *Porphyromonas gingivalis* in colonic mucosa-
associated microbiota and its enhanced adhesion to
epithelium in colorectal carcinogenesis: Insights from in
vivo and clinical studies. *PLoS One* 20: e0320383, 2025.
- 8) 高橋直紀: 総説 歯肉上皮バリア機能制御を基軸と
した新規抗歯周病薬開発の基礎的研究. *日歯周誌*
66 (4): 1-20, 2024.

【研究費獲得】

- 1) 多部田康一 (研究代表者): MPN 武装細菌による口
腔マイクロバイオームの再構築. 日本学術振興会科
学研究費基金 挑戦的萌芽研究, 23K18357, 2024.
- 2) 多部田康一 (研究代表者): Backpack を応用したセ
ルバインディング DDS の開発—新規歯周治療モデ
リテイ. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研
究(B), 23H03079, 2024.
- 3) 多部田康一 (研究分担者): DEL-1 による口腔組織修
復および再生機構の解明. 日本学術振興会科学研
究費補助金 基盤研究(B), 研究代表者: 前川知樹,
22H03267, 2024.
- 4) 多部田康一 (研究分担者): ウェアラブルデバイスを
用いた咀嚼行動変容と歯周病改善による糖尿病コ
ントロール. 日本学術振興会科学研究費補助金 基
盤研究(B), 研究代表者: 堀 一浩, 21H03129, 2024.
- 5) 高橋直紀 (研究代表者): 嚥下された歯周病原細菌に
よる腸管恒常性破綻機構の解明. 日本学術振興会科
学研究費補助金 基盤研究(C), 22K09961, 2024.
- 6) 高橋直紀 (研究分担者): 口腔細菌叢再構築による時
代共通細菌と因子の同定. 日本学術振興会科学研
究費基金 挑戦的萌芽研究, 研究代表者: 前川知樹,
24K22180, 2024.
- 7) 高橋直紀 (研究分担者): DEL-1 による口腔組織修復
および再生機構の解明. 日本学術振興会科学研
究費補助金 基盤研究(B), 研究代表者: 前川知樹,

- 22H03267, 2024.
- 8) 高橋直紀(研究分担者): ウェアラブルデバイスを用いた咀嚼行動変容と歯周病改善による糖尿病コントロール. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B), 研究代表者: 堀 一浩, 21H03129, 2024.
- 9) 小林哲夫: 歯周炎による関節リウマチ・慢性腎臓病の共通発症機序の解明ー特異的自己免疫の関与ー. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 24K12928, 2024.
- 10) 野中 由香莉(研究代表者): 選択的ジペプチジルペプチダーゼ阻害薬による糖尿病関連歯周炎に対する創薬研究. 日本学術振興会 科学研究費基金 基盤研究(C), 24K12945, 2024
- 11) 野中 由香莉(研究分担者): 糖非発酵グラム陰性細菌のペプチド代謝機構を標的とした抗菌薬開発. 日本学術振興会 科学研究費基金 基盤研究(C), 24K09765, 2024
- 12) 杉田典子(研究代表者): 歯周炎と死亡率の関連性におけるエネルギー代謝調節遺伝子の役割. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 24K12911, 2024.
- 13) 杉田典子(研究分担者): 口腔および口蓋扁桃マイクロバイオームが慢性腎臓病に及ぼす包括的メカニズムの解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 研究代表者: 葭原 明弘, 22K10337, 2024.
- 14) 中島麻由佳(研究代表者): 唾液腺への特異的な IgA 産生細胞の誘導メカニズムの解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究, 19K18993, 2024.
- 15) 佐藤圭祐(研究代表者): 唾液エクソソームを応用した新規 miRNA による歯周病進行リスク診断. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究, 23K16019, 2024.
- 16) 原実生(研究代表者): 歯周病原細菌による呼吸器上皮バリア機能破綻と肺がん発症機構を解明する. 日本学術振興会 科学研究費補助金 若手研究, 24K19892, 2024.
- 17) 原実生(研究分担者): 口腔幹細胞ニッチに着目した口腔老化メカニズム解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 国際共同研究加速基金(海外連携研究), 研究代表者: 前川知樹, 23KK0160, 2024.
- 18) 保莉崇大(研究代表者): 呼吸器マイクロバイオームの動態に着目した歯周病による COPD 増悪メカニズムの解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究, 23K15185, 2024.
- 19) 松岸 葵(研究代表者): 歯周病が脂質代謝へ及ぼす影響ーTRPV1 チャネルを介したメカニズムの解明ー. 科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金) 若手研究, 24K19893, 2024.
- 20) 都野隆博(研究代表者): 培養骨膜細胞シートにおける部位特異的な細胞特性に着目した高効率化骨再生療法の開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究, 24K19875, 2024.
- 21) 都野隆博(研究分担者): 口腔幹細胞ニッチに着目した口腔老化メカニズム解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 国際共同研究加速基金(海外連携研究), 研究代表者: 前川知樹, 23KK0160, 2024.
- 22) 峯尾修平(研究代表者): 歯肉上皮細胞由来エクソソームを介した歯周炎制御機構の解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究, 23K15996, 2024.
- 23) 笹川花梨(研究代表者): NF- κ B を介した再生ニッチ制御による骨再生迅速化技術の開発. 日本学術振興会 科学研究費基金 研究活動スタート支援, 24K23614, 2024.
- 24) 那須優介(研究代表者): 歯周病原細菌による菌血症がもたらす精神疾患発症機構の解明. 日本学術振興会 科学研究費基金 研究活動スタート支援, 24K23544, 2024.
- 25) 安井惟人: “やさしい創薬研究” イノベーション(AIM に着目した肺炎の創薬研究). 新潟大学未来社会を牽引するグローバルな総合知を備えたフロントランナー育成プロジェクト 2024.
- 26) 遠藤愛: ポスト長寿社会の研究ーモデル生物実験系の作製と in vivo シミュレーションー, 新潟大学未来社会を牽引するグローバルな総合知を備えたフロントランナー育成プロジェクト, 2024.
- 27) 滝澤史雄: 肺炎重症化因子のプロテオーム解析を基盤とした老化と肺炎重症化の関連性の探索, 日本学術振興会 特別研究員 DC2, 2024.
- 28) 湊 裕佳子(研究代表者): ワサビ由来成分による歯周病抑制効果の検討. 令和 6 年度未来社会を牽引するグローバルな総合知を備えたフロントランナー育成プロジェクト(新次世代プロジェクト) 研究費, J24H0003, 2024.
- 29) 柳川万由子(研究代表者): イオン液体(IL)を用いた歯周塗布薬の開発研究. 令和 5 年度新潟大学フェローシップ支援事業研究費, J23H0004, 2024.
- 30) 植田優太(研究代表者): 骨膜細胞移植を基軸とした新規骨再生療法の開発研究. 令和 6 年度新潟大学未来社会を牽引するグローバルな総合知を備えたフロントランナー育成プロジェクト 研究費, J24H0003, 2024.
- 31) Lorena Zegarra(研究代表者): Development of fatty acid-based ionic liquids for periodontal therapy. 公益財団法人 富徳会, 2024 年度海外留学研究者助成, 2024.

【講演・シンポジウム】

- 1) Takahashi N: Special lecture II exploring the oral-gut axis: The role of periodontal pathogens in gastrointestinal diseases. International collaborative symposium on development of human resources in practical oral health and treatment, Pullman Bangkok King Power Hotel Bangkok, Thailand, May 31- June 1, 2024.
- 2) 多部田康一：歯周病と全身の関わり. R6 中越地区歯科医学会, 柏崎, 2024 年 3 月 2 日.
- 3) 高橋直紀：シンポジウム 2 下部消化器 Pathobiont としての歯周病原細菌 *P. gingivalis*. 日本歯科保存学会 2024 年度春季学術大会(第 160 回), 仙台, 2024 年 5 月 17 日.
- 4) 高橋直紀：学術賞受賞記念講演 歯肉上皮バリア機能制御を基軸とした新規抗歯周病薬開発の基礎的研究. 第 67 回春季日本歯周病学会学術大会, 郡山, 2024 年 5 月 25 日.
- 5) 多部田康一：歯周治療の基本と関連背景のアップデート. 日本歯周病学会第 4 回四国地区臨床研修会, 松山, 2024 年 6 月 5 日.
- 6) 多部田康一：歯周治療をゴールに導く歯周治療の基本と関連背景のアップデート. 日本歯周病学会第 6 回東北地区臨床研修会, 青森, 2024 年 9 月 28 日.
- 7) 高橋直紀：アップデートシンポジウム 9 歯周炎と下部消化器疾患－粘膜関連細菌叢に着目した基礎的・臨床的検討－. 第 66 回歯科基礎医学会学術大会, 長崎, 2024 年 11 月 3 日.
- osteoregeneration. The 15th asian pacific society of periodontology meeting, Hanoi, Vietnam, October 17-19, 2024.
- 5) 湊裕佳子, 野中由香莉, 日吉 巧, 松岸 葵, Hnin Yu Lwin, 安藤大樹, 割田悠子, 多部田康一：歯周炎マウスモデルにおけるアリルイソチオシアネートの歯周組織破壊抑制効果の検討. 第 57 回新潟歯学会総会, 新潟, 2024 年 4 月 13 日, プログラムおよび講演抄録集：11 頁, 2024.
- 6) 小林哲夫, 伊藤 聡, 村澤 章, 石川 肇：関節リウマチ患者の腎機能障害と歯周病原細菌感染との関連. 第 68 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 神戸, 2024 年 4 月 20 日, プログラムおよび講演抄録集：11 頁, 2024.
- 7) 柳川万由子, 中島麻由佳, Yan C, Lorena Zegarar, 多部田康一：脂肪酸ベース・イオン液体の抗バイオフィルム能の検討. 日本歯科保存学会 2024 年度春季学術大会 (第 160 回), 仙台, 2024 年 5 月 17 日, プログラムおよび講演抄録集：118 頁, 2024.
- 8) 本杉駿弥, 高橋直紀, 都野隆博, 峯尾修平, Tran Diep, 植田優太, 多部田康一：Porphyromonas gingivalis が AOM/DSS 大腸がんモデルマウスに及ぼす影響とそのメカニズムの解析. 日本歯科保存学会 2024 年度春季学術大会 (第 160 回), 仙台, 2024 年 5 月 17 日, プログラムおよび講演抄録集：119 頁, 2024.
- 9) 中島麻由佳, Yan Chunyang, 柳川万由子, 多部田康一：Metal-Phenolic Networks 操作 Symbiosis 細菌群を用いた細菌叢移植技術の開発研究. 日本歯科保存学会 2024 年度春季学術大会 (第 160 回), 仙台, 2024 年 5 月 17 日, プログラムおよび講演抄録集：120 頁, 2024.
- 10) 那須優介, 岸川咲吏, 照沼美穂: Hippo-YAP 経路によるアストロサイトのグルタミン合成酵素発現制御. 第 54 回日本神経精神薬理学会／第 34 回日本臨床神経精神薬理学会合同大会, 東京, 2024 年 5 月 24 日, プログラムおよび講演抄録集：50 頁, 2024.
- 11) 湊裕佳子, 野中由香莉, 日高興士, 阪本泰光, 日吉巧, 松岸 葵, Hnin Yu Lwin, 安藤大樹, 割田悠子, 多部田康一：ジペプチジルペプチダーゼ阻害薬による歯周病抑制効果の検討. 第 67 回春季日本歯周病学会学術大会, 郡山, 2024 年 5 月 24 日, プログラムおよび講演抄録集：126 頁, 2024.
- 12) Tran Diep, 高橋直紀, 都野隆博, 本杉駿弥, 植田優太, 永田昌毅, 多部田康一：コラーゲン様リコンビナントペプチドがヒト培養骨膜細胞に与える影響の解析. 第 67 回春季日本歯周病学会学術大会, 郡山, 2024 年 5 月 24 日, プログラムおよび講演抄録集：126 頁, 2024.

【学会発表】

- 1) Yan C, Nakajima M, Yanagawa M, Tabeta K: Antibacterial and antibiofilm activities of choline geranate-ionic liquid for periodontal therapy. International collaborative symposium on development of human resources in practical oral health and treatment, Bangkok, Thailand, May 31, 2024.
- 2) Nasu Y, Tabeta K, Terunuma M: Astrocytes as potential therapeutic target for epilepsy. International collaborative symposium on development of human resources in practical oral health and treatment, Bangkok, Thailand, June 1, 2024.
- 3) Tran D, Takahashi N, Tsuzuno T, Motosugi S, Ueda Y, Nagata M, Tabeta K: Recombinant collagen peptide promotes periosteal cell-derived bone regeneration. International collaborative symposium on development of human resources in practical oral health and treatment, Bangkok, Thailand, May 31-June 1, 2024.
- 4) Tran D, Takahashi N, Tsuzuno T, Motosugi S, Ueda Y, Nagata M, Tabeta K: The beneficial effects of recombinant collagen peptide in periosteal cell-derived

- 13) 安藤大樹, 野中由香莉, 松岸 葵, 日吉 巧, Hnin Yu Lwin, 湊裕佳子, 割田悠子, 多部田康一: カチオン性コメペプチドによる *Porphyromonas gingivalis* バイオフィーム阻害効果の検討. 第 67 回春季日本歯周病学会学術大会, 郡山, 2024 年 5 月 24 日, プログラムおよび講演抄録集: 132 頁, 2024.
- 14) 小林哲夫, 伊藤 聡, 杉田典子, 村澤 章, 石川 肇, 多部田康一: 関節リウマチ患者の歯周炎, シトルリン化関連因子, および腎機能の関連性の解析. 第 67 回春季日本歯周病学会学術大会, 郡山, 2024 年 5 月 24 日, プログラムおよび講演抄録集: 135 頁, 2024.
- 15) 保莉崇大, 両角俊哉, 野中由香莉, 濃野 要, 小松康高, 杉原俊太郎, 山本裕子, 宮沢春菜, 鎗田将史, 新井恭子, 佐藤友則, 高橋直紀, 小牧基浩, 多部田康一: 慢性歯周炎患者において SRP が及ぼす生体応答と自立神経活動への影響および Er:YAG レーザー応用の効果—パイロット研究—. 第 67 回春季日本歯周病学会学術大会, 郡山, 2024 年 5 月 24 日, プログラムおよび講演抄録集: 140 頁, 2024.
- 16) 高橋直紀, 多部田康一: セメント質過形成を伴う広汎型重度慢性歯周炎患者に包括的歯周治療を行った一症例. 第 67 回春季日本歯周病学会学術大会, 郡山, 2024 年 5 月 25 日, プログラムおよび講演抄録集: 147 頁, 2024.
- 17) Tran Diep, 高橋直紀, 都野隆博, 本杉駿弥, 植田優太, 永田昌毅, 多部田康一: The favorable role of recombinant collagen peptide in periosteal cell-derived osteoregeneration. 令和 6 年度新潟歯学会第 1 回例会, 新潟, 2024 年 7 月 13 日, プログラムおよび講演抄録集: 12 頁, 2024.
- 18) 那須優介, 岸川咲史, 照沼美穂: YAP によるアストロサイトのグルタミン合成酵素発現制御機構. 第 47 回日本神経科学大会/第 67 回日本神経化学会大会/第 46 回日本生物学的精神医学会合同大会, 福岡, 2024 年 7 月 26 日, プログラムおよび講演抄録集: 2096 頁, 2024.
- 19) 安井惟人, 平山 悟, 磯野俊仁, 日吉 巧, 土門久哲, 寺尾 豊: 肺炎球菌 SufC は自己溶菌によって菌体外へ放出され宿主プラスミノーゲンと結合する. 第 97 回日本細菌学会総会, 札幌, 2024 年 8 月 7~9 日, プログラムおよび講演抄録集: 43 頁, 2024.
- 20) 滝澤史雄, 土門久哲, 平山 悟, 笹川花梨, 米澤大輔, 牛田晃臣, 筒浦さとみ, 寺尾 豊: オゾンウルトラファインバブル水の殺菌および細菌毒素不活化作用の解析. 第 97 回日本細菌学会総会, 札幌, 2024 年 8 月 7~9 日, プログラムおよび講演抄録集: 46 頁, 2024.
- 21) 柳川万由子, 中島麻由佳, Yan Chunyang, Lorena Zegarra, 多部田康一: 脂肪酸ベース・イオン液体の抗バイオフィーム効果. 第 67 回秋季日本歯周病学会学術大会, 札幌, 2024 年 10 月 4 日, プログラムおよび講演抄録集: 138 頁, 2024.
- 22) 植田優太, 高橋直紀, 都野隆博, 永田昌毅, 本杉駿弥, 山田 葵, Tran Diep, 泉 健次, 多部田康一: Optical Coherence Tomography を用いた培養骨膜シートの厚みと骨形成能の関連性の検討. 第 67 回秋季日本歯周病学会学術大会, 札幌, 2024 年 10 月 4 日, プログラムおよび講演抄録集: 151 頁, 2024.
- 23) Lorena Zegarra, 中島麻由佳, 柳川万由子, Yan Chunyang, 多部田康一: コリナーリノール酸イオン液体を用いた歯周治療薬の開発研究. 第 67 回秋季日本歯周病学会学術大会, 札幌, 2024 年 10 月 4 日, プログラムおよび講演抄録集: 153 頁, 2024.
- 24) 割田悠子, 野中由香莉, 日高興士, 阪本泰光, 湊裕佳子, 松岸 葵, Hnin Yu Lwin, 安藤大樹, 多部田康一: 新規ジペプチド化合物の歯周病原細菌に対する抗菌活性の検討. 第 67 回秋季日本歯周病学会学術大会, 札幌, 2024 年 10 月 4 日, プログラムおよび講演抄録集: 153 頁, 2024.
- 25) Yan Chunyang, 中島麻由佳, 池田真由美, 柳川万由子, 多部田康一: Antimicrobial and Antibiofilm Effects of Choline Geranate Ionic Liquid for Periodontal Therapy. 令和 6 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟, 2024 年 11 月 2 日, プログラムおよび講演抄録集: 12 頁, 2024.
- 26) 安藤大樹, Hnin Yu Lwin, 野中由香莉, 松岸 葵, 湊裕佳子, 割田悠子, 高橋直紀, 多部田康一: フェルラ酸による *Porphyromonas gingivalis* バイオフィーム阻害作用の検討. 令和 6 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟, 2024 年 11 月 2 日, プログラムおよび講演抄録集: 13 頁, 2024.
- 27) 多部田康一: ヒト培養骨膜細胞シートにおける Optical Coherence Tomography を用いた品質評価方法の検討. 第 24 回日本再生医療学会, 横浜, 2025 年 3 月 20 日, プログラムおよび講演抄録集: 97 頁, 2025.

【受賞】

- 1) 小林哲夫, 伊藤 聡, 村澤 章, 石川 肇: 関節リウマチ患者の腎機能障害と歯周病原細菌感染との関連. 秀逸ポスター賞, 第 68 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2024 年 4 月 20 日.
- 2) 野中由香莉, 保莉崇大, 松川由実, 佐藤圭祐, 原実生, 竹内麻衣, 高見澤圭, 山崎恭子, 都野隆博, 田村光, 日吉巧, 目黒史也, 干川絵美, 松岸葵, 金子千尋, 峯尾修平, 山下萌, 多部田康一: Five-year

Prognosis and Risk Factor Analysis of Open Flap Debridement for Older People. 優秀論文賞, 第 160 回日本歯科保存学会 2023 年度春季学術大会, 2024 年 5 月 16 日.

- 3) 本杉駿弥: Porphyromonas gingivalis が AOM/DSS 大腸がんモデルマウスに及ぼす影響とそのメカニズムの解析. 保存学会優秀ポスター賞, 日本歯科保存学会 2024 年度春季学術大会 (第 160 回), 仙台, 2024 年 5 月 17 日.
- 4) 都野隆博: シングルセル遺伝子発現解析によるヒト培養骨膜細胞シートの骨形成評価. 歯周組織再生医学優秀発表賞, 第 66 回秋季日本歯周病学会, 2024 年 5 月 24 日.
- 5) 中島麻由佳: Engineering of bioactive nanocomplexes on dental floss for targeted gingival therapy. 新潟大学優秀論文表彰, 2024 年 7 月 1 日.
- 6) Tran Diep: The Beneficial Effects of Recombinant Collagen Peptide In Periosteal Cell-Derived Osteoregeneration. APSP poster award, The 15th Asian Pacific Society of Periodontology Meeting, Hanoi, Vietnam, October 17-19, 2024.

【その他】

- 1) Tabeta K: Developing novel modalities for periodontal disease. TIKG 13th Meeting, Makassar, Indonesia, February 25, 2025.
- 2) 多部田康一: 歯周医学: 研究, 臨床におけるエビデンスの理解. 広島大学講義, 広島, 2024 年 1 月 19 日.
- 3) 中島麻由佳: Drug Delivery Systems を応用した新規歯周病治療法の開発—Metal-Phenolic Network による Nanofloss 開発研究—. UJA 論文賞受賞講演, web 開催, 2024 年 5 月 12 日.
- 4) 高橋直紀: 口腔—腸管連関における歯周病原細菌 P. gingivalis の関与とその応用発展. 令和 6 年度歯学研究セミナー, 札幌, 2024 年 7 月 3 日.
- 5) 那須優介, 多部田康一, 照沼美穂: 歯周病原細菌性菌血症による精神疾患発症機構の解析. 第 64 回新潟生化学懇話会, 新潟, 2024 年 7 月 13 日, プログラムおよび講演抄録集: 43 頁, 2024.
- 6) 高橋直紀: 歯周病アップデート 2024—明日の臨床で使える知識と技術—. 六華会富山支部夏季研修セミナー, 富山, 2024 年 9 月 8 日.
- 7) 高橋直紀: ペリオのキホン—明日からの臨床で役立つ知識と技術—. 新潟大学医歯学総合病院 歯科衛生部門研修会, 新潟, 2024 年 10 月 25 日.
- 8) 高橋直紀: シンポジウム 歯周医学アップデート—嚥下された歯周病原細菌と下部消化器疾患—. 歯学研究を明るく楽しむ交流会・歯科領域での AI 活

用の検討会, 静岡県伊豆市天城ホームステッド, 2024 年 11 月 30 日-12 月 1 日.

- 9) Takahashi N: Oral-Gut Connection: Impact of Periodontal Pathogens on Gastrointestinal Diseases. International Class Guest Online Lecture, Indonesia, Hasanuddin University Faculty of Dentistry, November 21, 2024.
- 10) 湊裕佳子: ジペプチジルペプチダーゼ阻害薬による歯周病抑制効果の検討. 歯学研究を明るく楽しむ交流会・歯科領域での AI 活用の検討会, 伊豆, 2024 年 12 月 1 日.
- 11) 柳川万由子: 歯周治療への応用を目指した脂肪酸ペーヌイオン液体の開発研究. 歯学研究を明るく楽しむ交流会・歯科領域での AI 活用の検討会, 静岡, 2024 年 12 月 1 日.
- 12) 両角俊哉, 新井恭子, 鎗田将史, 佐藤友則, 保苅崇大, 北島佳代子: 歯周治療により誘発される菌血症と全身への影響. 歯学 111 春季特集号: 76-79, 2024.

歯科矯正学分野

【論文】

- 1) 大森裕子: 新潟大学における外科的矯正治療の臨床と研究. 甲北信越矯正歯科学会雑誌 32(1): 8-12, 2024.
- 2) Nagasaki T, Kurihara-Okawa K, Okawa J, Nihara J, Takahashi K, Hori K, Fukui T, Ono T, Saito I: Tongue pressure and maxillofacial muscle activities during swallowing in patients with mandibular prognathism. J Oral Rehabil. 51(8):1413-1421. 2024.
- 3) Mimura S, Kurihara-Okawa K, Fukamachi N, Nagasaki T, Hori K, Okawa J, Takeyama M, Ono T, Saito I: Characteristics of masticatory behavior of patients with mandibular prognathism. Maxillofac Plast Reconstr Surg. 47(5), 2025.
- 4) Kitamura M, Kudo T, Ichikawa K, Fujita A, Osawa K, Sari FT, Utama V, Kesuma A, Saito I, Nihara J: The role of primary cilia in nasal septum development. Niigata Dent. J. 54(2): 9-14, 2024.
- 5) Ryo T, Junya K, Yuko O, Kojiro T, Isao S, Mika K and Tetsu M: Fabrication of Apparatus Specialized for Measuring the Elasticity of Perioral Tissues. Materials 17(15), 3654, 2024.
- 6) Kawasaki M, Kawasaki K, Sari FT, Kudo T, Nihara J, Kitamura M, Nagai T, Utama V, Ishida Y, Meguro F, Kesuma A, Fujita A, Nishimura T, Kogure Y, Maruyama S, Tanuma J, Kakiyama Y, Maeda T, Ghafoor S, Khonsari